KAWASAKI COLLEGE OF ALLIED HEALTH PROFESSIONS

川崎医療短期大学

広報誌　No.97

希望の芽

特 集　**新たなスタートへ**

- 入学前学習＆キャンパスカミングデイ
- 学外研修
- 日本語に関する取り組み
- 公開講座案内
- 協助会報告／国家試験合格状況／補助金
- 新任教職員紹介／川崎エコアクション
- インフォメーション

学外研修（撮影：桝本 朋子）

伝統を踏まえながら、新たなスタートへ

川崎医療短期大学は、平成29年度から看護科・医療介護福祉科のみの募集となり、従来の5学科から2学科の体制になりました。

看護科は、創設から45年間、医療の現場で活躍できる質の高い看護師の養成を実践し、伝統を築いてきました。また、医療介護福祉科は、創設から17年間、時代のニーズに合った医療に強い介護福祉士を輩出し、社会に貢献してきました。これまでの伝統を踏まえながら、2学科による新たな川崎医療短期大学がスタートしています。

今回の特集では、看護科・医療介護福祉科両学科の主任に、他大学とは違う本学の魅力と教育目標について語っていただきました。併せて、学内の実習室の紹介をいたします。

学長
医療介護福祉科 主任
小池 将文

不　易　流　行

本学では組織の改革を行い、平成29年度から看護科と医療介護福祉科の２学科になりました。臨床検査科、放射線技術科、医療保育科の３学科は、４年制へのニーズの高さもあり、川崎医療福祉大学に移りました。なお、この３学科の２・３年の在学生は卒業まで本学に残ります。

表題の「不易流行」は俳人の松尾芭蕉が唱えた理念で、「不易」はいつまでも変わらないこと、「流行」は時代に応じて変化することです。変えるべきではない本質的なことを踏襲したうえで、新しい時代の変化に対応していくことの大切さを意味しています。本学は、規模こそ小さくなりますが、「不易流行」の理念にならい、創設者川﨑祐宣先生の唱えられた建学の精神を継承しつつ、これからの時代に必要とされる人材の育成に努めます。

健康な日常生活を行ううえで様々な問題を抱えた人に寄り添い、支援する専門性の高い仕事が看護や介護です。本学では、相手の痛みを理解して共感できる感受性と、人に気配りできるやさしさを備えた職業人を社会に送り出せるよう、それぞれの学科が最適なカリキュラムを基に教育に取り組んでいます。川崎学園が二つの総合病院を有していることから、本学は医療に軸足を置いた専門職の育成を特徴としており、特に、医療介護福祉科では、福祉施設だけでなく病院でも活躍できる介護福祉士の養成に力を入れています。

本学は、4年制よりも短期間で国家資格を取得することができます。その反面、講義や実習のスケジュールはかなりハードです。しかし、本学には国家試験合格に向けて勉強から学生生活まで、きめ細かく対応する教員がそろっており、全力で学生を支えています。

看護科 主任
登喜 玲子

3年で看護師になる！
アピール大作戦

岡山県内の短期大学で唯一の看護師養成機関である本学科は、充実した教育環境を生かし、独自の看護教育を試みています。

現在の看護師には、従来以上に判断能力が求められるようになってきました。それは、近年の看護師国家試験の傾向にも如実に現れています。基礎的知識をもとに状況に応じた判断をする能力、多重課題や集団へのアプローチに必要な広い知識を統合する能力が求められているのです。これらの能力は、きちんとした看護教育を行っていないと育ちません。

本学では、高度の医療に関する研修能力を持つ特定機能病院である川崎医科大学附属病院、川崎医科大学総合医療センター、さらに県内21カ所の訪問看護ステーション、介護老人保健施設などにおいて、実習指導者と常に協力体制をとり、看護師に求められる能力を磨く指導を展開しています。

また、判断能力を養うには、状況を説明した文章を読解する力が必要です。長文を読み、内容を理解する力が要求されます。若者の読書離れはよく言われることですが、本学では入学時から「日本語」「文章表現」などの科目を通じて国語力の強化に力を入れており、学生の国語力は、他大学の学生に引けを取らないと感じています。

以上のような本学科の特徴は、3年間で判断能力を備えた看護師になるための心強い後押しとなっています。駅伝で3冠を達成した青山学院大学陸上部の原監督は「サンキュー大作戦」というスローガンを掲げられましたが、川崎医療短期大学看護科は「3年で看護師になる！アピール大作戦」という言葉を掲げて、独自の看護教育ロードを走り続けたいと思います。

実習室紹介

看護科

看護科実習室は全部で5室あります。小児や妊産婦を想定した教材を備えた母性・小児看護実習室、自宅で過ごされる高齢者や障がい者を想定したベッドや台所などがある在宅看護実習室、高齢者のための補助具等を備えた老年看護実習室、専門的な技術練習を行う基礎看護実習室、周術期の患者管理などを想定した演習を行う成人・精神看護実習室です。それぞれの実習室には病院で使用されているものと同様の医療器具をそろえ、様々な状況に合わせた演習を行うことができます。

母性・小児看護実習室

女性の妊娠・出産・分娩（ぶんべん）・育児の援助に必要な妊婦の健診、新生児の計測や日常の世話に関する観察や技術、小児の発育健診や診療にかかわる観察や技術などについて、臨床の場を想定し、様々なモデル人形や機材を用いたリアルな体験を通じて学びを深めます。

基礎看護実習室、成人・精神看護実習室

6階には15台のベッドがある広い実習室が二つあります。普段はシンプルな実習室ですが、実習時には隣接する器材庫などから物品を準備し、ベッドメーキングから気管内吸引にいたるまで、様々な看護技術の学び場として使われています。放課後にも自己練習に使用するなど、学生にはとてもなじみ深い実習室です。

実習に役立つとっておきのグッズ①

新生児黄疸のスクリーニングに用いられます。赤ちゃんの頭部や胸部にこの機械の先を押し当てることで、簡単に黄疸の程度を知ることができ、経過を判断する大切な情報となります。

実習に役立つとっておきのグッズ②

細かい作業が多い看護技術の実習では、高画質な画像の無線送受信システムである「SKY WAVE」が大活躍しています。ライブ映像を2カ所の大スクリーンで映し出し、離れていると見えない注射器の目盛や注射針の穴までしっかり確認できる優れものです。

実習室紹介

医療介護福祉科

3階に介護実習室、入浴実習室、4階に家政学実習室があります。介護・入浴実習室では、基本的な生活支援技術（介護技術）の授業を行っています。特に、介護の基本理念を踏まえながら、他の科目で習得した知識も結びつけ、コミュニケーション力や観察力を高めることのできる授業を展開しています。また、個別ケアについても学ぶことができるよう、様々な福祉用具も活用しています。介護実習室の一角には、在宅生活をイメージできるように和室も備えています。家政学実習室では、生活支援（食生活・住居・衣生活）の授業を行い、現場実習での実践へとつなげていきます。

介護実習室

介護技術や医療的ケアなど、介護福祉士に必要な支援方法を学ぶ場所です。12台のベッドが備わっており、少人数または個別での演習を行っています。介護技術の授業では、学生自身が互いに利用者・介護者になりきり、特に「利用者体験」の機会を得ることを大切にしています。

家政学実習室

調理台や被服の作業台が15台並ぶ実習室は、調理実習、裁縫などの被服の演習ができるようになっています。在宅実習で必要な基礎的な食事の準備や繕いものを基礎からしっかりと学ぶことができるよう、様々な器具をそろえています。

入浴実習室

高齢者の施設などで使用されている特殊浴槽（チェアインバス・オンラインバス）と、在宅での入浴支援方法を学ぶための家庭浴槽があります。家庭浴槽の入浴場面では、福祉用具も使用します。利用者一人ひとりに合った入浴方法について学ぶことができます。

実習に役立つとっておきのグッズ

リフト

持ち上げない介護を実践するために、高齢者の施設などではリフトが使用されています。実習室には、「据え置き式リフト」「床走行式リフト」の２台があり、利用者と介護者の、双方の安全・安楽について学ぶことができます。

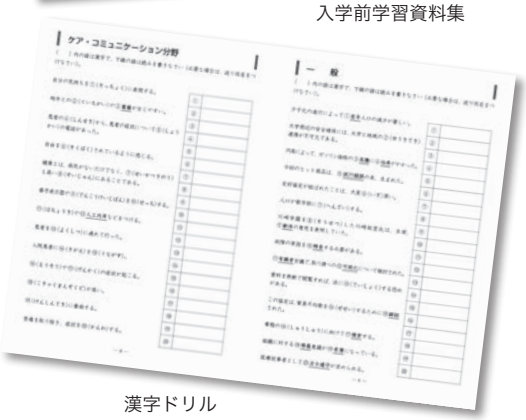
入学前学習＆キャンパスカミングデイ

本学では、入学生の学修を支援する目的で、『入学前学習資料集』と『漢字ドリル』による準備教育を実施しています。『入学前学習資料集』には、入学後に必要な教科の学習ポイントが示され、学科別課題と、国語・英語・理数系科目の教科別問題集が入っています。『漢字ドリル』では、医療関係から理数系科目までの様々な分野で使われる語彙を出題しました。教科書や授業、さらに国家試験の問題を理解するうえで、語彙の修得は不可欠だからです。

これら2冊は本学教員の手作りです。学科別課題はそれぞれの学科の教員が、また、教科別問題集と『漢字ドリル』は一般教養教員が編集し、印刷から送付作業まで、教員と事務部の職員が協力して行っています。入学される皆さんに学業において良いスタートを切っていただきたいという教職員の思いが込められています。

理数系科目の解説
物理、生物、化学、数学などは看護や介護の科目を学習していく基礎となります。

入学前学習資料集



漢字ドリル

看護科教員による個別指導
「専門の授業は何科目あるのですか」「実習はいつから始まりますか」など、新しい学習に対する不安に丁寧に答えます。

冊子は入学予定者全員に送付されますが、AO入試、推薦入試（前期）の合格者には課題提出が求められ、問題集の採点結果と、教員によって添削された『漢字ドリル』が返却されます。併願入試の合格者には、正解集を同封して、自己学習、自己採点していただくようにしています。

今年度は、入学前から学修支援を強化するため、3月13日（月）にキャンパスカミングデイを開催しました。そこでは、理数系科目の解説、英語・国語の個別相談、看護科・医療介護福祉科教員による学修相談を行いました。42人の入学予定者が来学し、解説や相談に参加しました。キャンパスカミングデイを通じて、入学前から本学教職員との距離を少しでも縮めることができたのではないかと思います。本学ではこれからも入学前の学修支援に力を入れていきたいと考えています。

国語の個別教科相談
読解力がすべての学習において必要です。漢字や文章の基本を示します。

平成29年度

学外研修

教員や同級生と親睦を深めるため、入学して間もない時期に学外研修を行っています。

看護科

日　時　平成29年4月22日（土）8：30～16：10

行き先　ホロコースト記念館 みろくの里

看護科1年生141人は、学生間の親睦を深め、より良い人間関係をつくることを目的にして、4月22日（土）にバス4台で学外研修に参加しました。午前中は、アンネの日記で知られるユダヤ人迫害に関する記念館である、広島県福山市のホロコースト記念館に行きました。午後からは、福山市内のみろくの里に行きバーベキュー（BBQ）を楽しんだ後、遊園地で仲間たちと楽しいひと時を過ごしました。グループ対抗クイズなどで、交流を深めることができました。

● ホロコースト記念館見学

ホロコーストとは、「焼いたいけにえ」を意味するギリシャ語です。記念館には、迫害されていたユダヤ人に支援の手を差し伸べた杉原 千畝氏の紹介もあり、「一人の命を救うものは全世界を救う」というユダヤ教の聖典の言葉が添えられていました。この言葉は、医療人を目指す私たちが、人々の命に対してどのように向き合うかを考えさせてくれるよいきっかけとなりました。見学を通じて、人権問題について考えることもできたと思います。

● BBQの昼食

昼食は、教員を交えてBBQを楽しみました。グループによっては、具材の焼き方や焼く順序などを仕切る、鍋奉行ならぬ鉄板奉行がいたようで、肉と野菜を均等に順序よく焼いていました。一方で、BBQというよりもまるで鍋のように、野菜も肉もどんどん焼いて早々に食べつくし、さっさと散策に出かけたグループもありました。BBQ一つでも、それぞれのグループカラーが出るものだと思いました。

● みろくの里散策

グループごとに遊園地でジェットコースターなどのアトラクションを楽しんだり、昭和初期の時代にタイムスリップしたような雰囲気の街並み「いつか来た道」を散策したりしました。天気がよかったので、今話題のクレミアソフトクリームを買って食べたグループもありました。限られた時間でしたが、充実した時間を過ごすことができました。

医療介護福祉科

日　時　平成29年4月22日（土）8：30～15：00

行き先　金刀比羅宮 中野うどん学校（琴平校）

今年度の学外研修は、1、2年生が一緒に香川県の金刀比羅宮へ、国家試験合格祈願も兼ねてお参りに行きました。金刀比羅宮では、それぞれの想いを胸に御本宮と奥社へ向かい、合格のお願いをしました。へとへとになりながら登った階段は合計1368段でした。帰り道には森林浴や土産物屋の散策を楽しみながら、次の目的地である中野うどん学校へ向かいました。全員で手洗いから始まり、各テーブルでうどんを伸ばし、踏み、そして切り、最後はみんなで作った釜揚げうどんとおにぎりをおいしく頂きました。

● 金刀比羅宮参拝

天気も良く元気に登り始めました。新緑の中、御本宮までの785段を一気に登り、ひとまず写真撮影をしました。山からの景色を見下ろしながらひといき入れて、いざ奥社へ向かいます。ここからは気のせいか坂道が険しく、階段も急こう配です。みんなから笑顔が消え、ただただ前を見つめてひたすら登りました。

● 中野うどん学校（琴平校）

昼食はうどんです。うどん打ち体験をして作ったうどんを食べました。楽しく軽快な指導のもと、うどんを打ちます。粉から練って、練って、踏んで、踏んで、飛んで、踏んで、踊って、踏んで、教員も学生も一つになってうどんを打ちました。金刀比羅宮に参った後とは思えないほど軽やかに作業は進み、おいしい讃岐うどんができました。

● 昼食とお土産

食事も終わり、「おいりソフト　和三盆味」をお店の前で頂きました。色とりどりの「おいり（香川県のあられ）」が口の中で溶けます。みんな思い思いのお土産を買って、香川の旅は終了です。金刀比羅宮の思い出とうどんを、筋肉痛とともに倉敷へ持って帰りました。

◇日本語に関する取り組み◇

平成28年度
コンテスト受賞のお知らせ

第22回
「前田 純孝賞」
学生短歌コンクールにて
6人が入賞

兵庫県美方郡新温泉町出身の歌人、前田 純孝を顕彰する学生短歌コンクール（同町など主催、選者は歌人の佐佐木 幸綱さん）に、「文章表現」受講の看護科と放射線技術科の学生が応募しました。その結果、大学生の部の応募作品808首の中から、放射線技術科2年の清板 翼さんをはじめ6人の作品が入賞し、合わせて学校賞を受賞しました。

上位入賞者は、手書きの作品が新温泉町の浜坂先人記念館に展示されました。

◆空梅雨の児島のジーンズストリート青空に映えるデニムのブルー
新温泉町教育長賞　放射線技術科2年　清板 翼

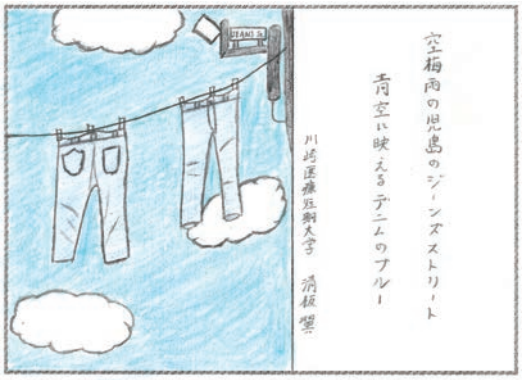
◆休み時間覚えたばかりの医療用語サラッと使い友達笑う
神戸新聞社賞　看護科2年　佐藤 美穂

◆苦しくて諦めそうになるけれどきっとつながる看護師の自分へ
佳作　看護科2年　大村 真永

◆変わらない私の夢は高く高く空にはばたくフライトナース
佳作　看護科2年　都野川 遥菜

◆たまにあう昔の友とはなしても少し前より未来が見える
佳作　看護科2年　村上 郁菜

◆ナース服まだ着こなせず三年後パリッと決めるナースになるぞ
佳作　看護科2年　八木 咲彩



清坂 翼さんの手書き作品

佐藤 美穂さんの手書き作品

第11回

赤十字・いのちと献血 俳句コンテスト 一般団体の部にて団体賞受賞

日本赤十字社主催の俳句コンテストに、医療保育科2年次生対象の「幼児と国語」の受講生65人が応募し、岡山県赤十字血液センター団体賞を受賞しました。今回で8度目の受賞です。

65人の合計567句の中から、主なものを掲載しました。献血と命の尊さ、子どもや家族への愛情、友情、自然への感動が躍如として描かれています。

◆シャボン玉子どもの夢乗せ飛んでゆけ	浅野 菜々子
◆菜の花が咲きだす頃は君想う	粟村 美穂
◆雨上がり二重の虹が輝いた	猪原 美幸
◆風に吹かれ黄金の田が踊りだす	上野 彩乃
◆ストーブの香り懐かし小学校	江口 萌
◆思い出を線香花火で語り合う	岡本 千奈
◆きれいだね祖母の自慢のチューリップ	小椋 由実
◆学園祭友達連れて献血へ	神崎 茜
◆桜道手つなぎ向かう献血台	倉重 悠生
◆夏の海はしゃぐ小さな麦わら帽	近田 貴子
◆おでん食べ大根取り合う姉妹かな	坂口 梨花子
◆雪積もり授業をやめて雪合戦	佐竹 美砂
◆「お帰り」と言われて感じる母の愛	篠原 那奈
◆書初めにこめるは希望そして夢	清水 香花
◆「頑張れ」のかけ声聞こえる運動会	髙岡 百香
◆新年の初の戦い福袋	徳永 麻友
◆すきとおる夏の思い出金魚売り	野原 茉由
◆向日葵に子どもの笑顔重ね見る	福光 麻貴
◆温かいこたつで過ごす家族の時間	山内 愛友佳
◆どんぐりが散歩している秋の道	渡邉 絵美子

平成29年度

公 開 講 座

第1回【医療介護福祉科】

講座名：

食べる楽しみを大切に

低栄養状態を知り、介護予防につなげよう

講　師

河邉 聡子

（本学医療介護福祉科准教授）

日　時

平成29年

6月17日（土）

10：00 ～11：30

会　場

本学 体育館

101教室

第2回【看護科】

講座名：

突然の心臓発作や心停止！

あなたとあなたの大切な人を救うために！

講　師

井上 千穂

（本学非常勤講師）

日　時

平成29年

8月19日（土）

10：00～11：30

会　場

本学 体育館

101教室

お申し込み・お問い合わせ先

〒701-0194　岡山県倉敷市松島316
川崎医療短期大学　公開講座係
TEL.086-464-1032
FAX.086-463-4339
Eメール：koukai@jc.kawasaki-m.ac.jp

協助会報告

平成29年度 川崎医療短期大学 協助会役員

会　長	大西 郁男（医療保育科3年）
副会長	大森 雄治（看護科1年）
副会長	小池 将文（川崎医療短期大学学長）
監　事	笹部 恵子（看護科3年）
監　事	大矢 雅子（医療介護福祉科1年）

平成28年度収支決算書および平成29年度収支予算書

4月4日の入学式終了後に開催された平成29年度協助会総会において、下表の平成28年度収支決算書および平成29年度収支予算書が承認されました。これにより、今年度も学生の皆さんの学習、福利厚生、学生生活および進路等に関する諸活動についての支援が行われます。

平成28年度 川崎医療短期大学協助会収支決算書

一般会計　（円）

収入		支出	
会費	10,410,000	学生研修助成費	5,157,628
前年度繰越金	6,285,386	厚生福利費	1,470,435
雑収入	540	学生生活指導費	2,675,230
		進路指導助成費	1,472,744
		渉外費	10,000
		事務費	437,747
		雑費	5,400
		予備費	132,620
		次年度繰越金	5,334,122
合　計	16,695,926	合　計	16,695,926

特別会計　（円）

収入		支出	
前年度繰越金	11,154,140	次年度繰越金	11,356,882
雑収入（預金金利）	2,742		
平成28年度基金	200,000		
合　計	11,356,882	合　計	11,356,882

平成29年度 川崎医療短期大学協助会収支予算書

一般会計　（円）

収入		支出	
会費	4,470,000	学生研修助成費	4,600,000
前年度繰越金	5,334,122	厚生福利費	1,340,000
特別会計からの繰入金	600,000	学生生活指導費	2,220,000
		進路指導助成費	1,700,000
		渉外費	50,000
		事務費	400,000
		雑費	10,000
		予備費	84,122
合　計	10,404,122	合　計	10,404,122

特別会計　（円）

収入		支出	
前年度繰越金	11,356,882	一般会計への繰出金	600,000
雑収入	2,500	次年度繰越金	10,759,382
合　計	11,359,382	合　計	11,359,382

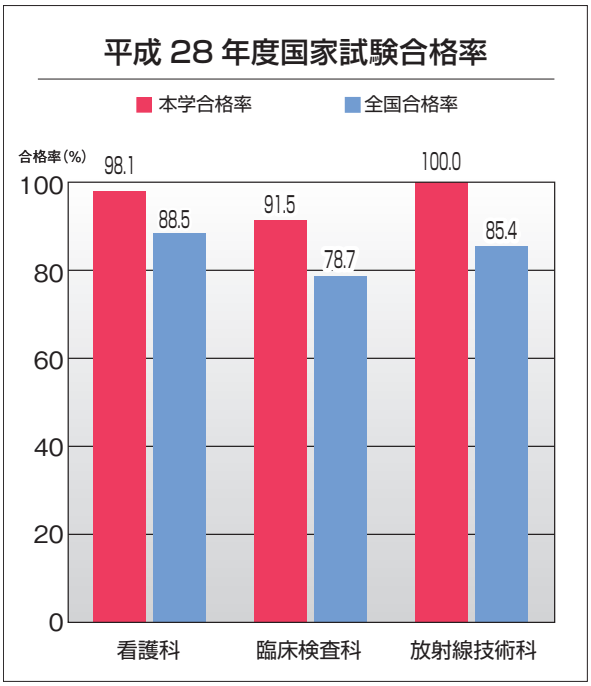
※特別会計は、教育・実習のための施設設備および学生のために特に必要なものを備えることを目的とした積立金です。しかし、臨床検査科、放射線技術科、医療保育科の医療福祉大学への改組により大幅な減収となり、在学生が卒業するまで従来と変わらない支援をしていくには会費収入だけでは不足するため、特別会計から必要に応じて取り崩し使用させていただくことが総会で承認されました。

平成28年度 国家試験結果と進路状況

3月末に平成28年度国家試験合格発表があり、下図に示したような全国合格率を上回る好成績を収めました。

就職については、就職希望者312人に対して、求人数2,456人、就職率は97.8%でした。進学については、岡山大学等の国立大学へ6人、川崎医療福祉大学等の私立大学へ11人でした。

各学科の最新情報は、本学ホームページをご覧ください。



	看護科	臨床検査科	放射線技術科
受験日	2月19日	2月22日	2月23日
発表日	3月27日	3月29日	3月29日

平成29年度 補助金の内容

研究代表者	医療保育科教授　**中原 朋生**
平成27年～29年（千円）	4,680
平成29年度配分額（千円）	1,560
名称	**科学研究費助成事業 基盤研究(C)** 『子どもの法的社会化の発達過程を踏まえた幼・小をつなぐ法教育教材開発』

新任教職員紹介

今年度から本学の仲間になった教職員の方々を紹介します。

水畑 忍　看護科　准教授

患者さんにとって安全で安楽な療養環境を第一に考えることのできる看護師になってもらいたいです。川崎医科大学附属病院での看護の経験を基に支援していきます。一緒に頑張りましょう。

谷野 宏美　看護科　准教授

看護の楽しさや魅力を伝えたいと思います。また、看護の道を選んでよかったと思ってもらえるようにサポートできたらと思います。学生生活の応援もいたします。気軽に声を掛けてください。

清水 登紀子　看護科　助教

看護師として病院に勤務する中で、多くの人と出会い、様々なことを学んできました。これまでの経験を生かし、学生の皆さんに看護の楽しさを伝え、一緒に笑い、悩み、考え、共に成長し、力になりたいと考えています。気軽に声を掛けてくださいね。

河畑 匡法　看護科　助教

教員としての経験はなく、不安な面も多くありますが、学生の皆さんと切磋琢磨できる喜びを日々感じております。主に臨地実習を担当いたしますので、臨床を通して学びを深め、共に成長していきましょう。

原田 佳織　看護科　助教

私は本学看護科の 37 期生で、卒業後、5 年間病院で勤務しました。看護の魅力や楽しさ、難しさなど、様々なことを皆さんに伝えられたらと思っています。一緒に学び、考えながら成長していきましょう。

大野 佑子　臨床検査科　助教

検査技師としての臨床経験も生かしながら、学生の皆さんと一緒に考え、悩み、学んでいきたいと思っています。学生生活の中で、不安になることも多いと思います。なんでも気軽に相談してください。

堀江 満由美　事務部長

学生の皆さんがそれぞれの将来の夢に向かって、勉学に励めるよう、また、楽しく、充実した学生生活を過ごすことができるよう全力で応援します。若い皆さんと一緒に過ごせることを楽しみにしています。

山本 陽子　健康支援室　養護職員

附属病院での経験を踏まえ、母校の学生の皆さんが勉学に励み、楽しい学生生活を送ることができますように、人生の先輩としてお役に立てればと思っています。気軽に訪ねてきてくださいね。

稲谷 有実子　図書館　事務職員

4 月より川崎医療福祉大学の図書館から異動してまいりました。約 4 年振りの医療短大勤務で、以前と変わらない所を見つけてはホッとしています。気持ちを新たに、図書館を通して皆さんの学生生活のサポートに努めてまいります。

弘松 秀雄　学生寮　舎監

4 月より川崎医科大学附属高等学校の男子寮から異動してまいりました。学生の皆さんが快適な環境で寮生活を過ごすことができるように、お手伝いさせていただきます。困ったことや悩みなどがありましたら遠慮なく相談してください。

弘松 多鶴子　学生寮　寮母

4 月より川崎医科大学附属高等学校の男子寮から異動してまいりました。舎監同様、学生の皆さんが楽しく、快適な寮生活を過ごすことができるように、お手伝いさせていただきます。悩みや困ったことなど、遠慮なく相談してくださいね。

地球温暖化対策ワーキンググループだより

川崎エコアクション NO. 36

蛇口の栓は少しだけ

普段から蛇口の栓は少しだけ開けるようにしています。例えば、食器を洗うときに、水量はなるべく少なくするよう心掛けています。

栓を少しだけ開けるようになったのは、東日本大震災がきっかけでした。当時、被災地から遠く離れた地元でさえも、お店から飲料水が無くなりました。被災して水不足になったとしても、生活していける習慣を身につけておきたいと考えたのです。

栓を少しだけ開けるのは、エコのことを考えて始めたわけではないので、まっとうなエコアクションとは言えないかもしれません。でも、おかげで水道の栓を自由にひねることのできる有り難みを感じられるようになりました。そして水があることの有り難みも。

水だけでなく、身の回りの地球環境に「少しだけ」という気持ちで向かい合えば、もっといろんな有り難みを感じられるかもしれない。この有り難みがエコに通じるのでは。ふとそう思えた私は、これからも「少しだけ」の精神でエコアクションに努めます。

（一般教養　森本 寛訓）

主要行事（7月～9月）

7月	5日	医療介護福祉科1年介護実習Ⅰ終了
	12日	医療介護福祉科2年介護実習Ⅲ終了
	20日	臨床検査科3年臨床実習Ⅱ終了
	23日	3校合同オープンキャンパス
	27日	放射線技術科3年臨床実習Ⅱ終了
8月	18日	看護科2年保育園実習（～8/23）
	19日	本学オープンキャンパス
	〃	第２回公開講座
	21日	医療保育科3年病児保育コース 小児病棟実習（～9/16）
	26日	AO入試前期
	28日	医療保育科2年保育実習Ⅰ（～9/6）
9月	21日	放射線技術科授章式
	25日	看護科3年臨地実習終了
	〃	医療介護福祉科2年介護実習Ⅳ（～10/28）
	〃	医療保育科3年発達障害児保育実習（～10/28）
	26日	臨床検査科3年臨地実習Ⅰ（～11/30）
	〃	放射線技術科2年臨床実習Ⅰ（～2/15）
	30日	AO入試後期

OPEN CAMPUS 2017

オープンキャンパス 2017　開催スケジュール

●川崎医療短期大学オープンキャンパス（受付：本学にて）

8/19土 13：00～16：00

10/21土 10：00～15：00
10/22日 10：00～15：00

学園祭同時開催！

●合同オープンキャンパス（受付：川崎医療福祉大学にて）
川崎医療短期大学・川崎医療福祉大学・川崎リハビリテーション学院の３校合同開催

6/18日 10：00～15：00

7/23日 10：00～15：00

◆体験・模擬講義、入試概要説明、入試相談、女子寮見学、施設見学など、豊富なコンテンツ！
◆参加された方に記念グッズなどプレゼント！
◆当日 JR 中庄駅から往復無料バス運行（10 月を除く）
◆駐車場あり（当日無料）

Present for visitor

事前申込不要 !!
保護者の方や先生方もお気軽にご参加ください

内容は変更になる可能性がありますので、事前にホームページ等でご確認ください。
http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc

なお、学校見学は随時受け付けています。その他詳細は、教務課までお問い合わせください。
【TEL】086-464-1033（受付・平日９：00～16：00、土曜９：00～11：30）

川崎医療短期大学広報誌
「若きいのち」（97号）
2017年6月発行
編集発行：広報誌編集委員会
河邉 聡子（医療介護福祉科・委員長）
見尾 久美恵（一般教養・副委員長）
森本 寛訓（一般教養）
桝本 朋子（看護科）
黒住 菜美（臨床検査科）
天野 貴司（放射線技術科）
重松 孝治（医療保育科）
桑田 俊明（庶務課）
松井 美奈（庶務課・書記）
写真協力：二葉写真館
印　　刷：友野印刷株式会社
皆さんからのご意見・ご要望をお待ちしております。
〒701-0194 倉敷市松島316
川崎医療短期大学 広報誌編集委員会
電話：086-464-1032（庶務課）
Eメール：kouhou@jc.kawasaki-m.ac.jp
ホームページ　http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/

編　集　後　記

今年度がスタートして2カ月が経ちました。4月からの改組により、臨床検査科・放射線技術科・医療保育科の3学科は川崎医療福祉大学へと移りましたが、一部の講義や実習は本学で実施されていることもあり、まだ新体制になったという実感は湧いていません。

今後、新たな出発となった本学の魅力を多くの方々に知っていただくために、様々な角度から看護科、医療介護福祉科を紹介していきます。97号では、実践的な教育を行ううえで不可欠な実習室と、実習で使用する機器や設備に焦点を当てました。本学は機器や設備が充実しており、臨床の場に近い環境で学生たちが学べることをお分かりいただければ幸いです。

5月20日（土）を皮切りに、今年度もオープンキャンパスを５回実施します。今回紹介しきれなかった実習室や機器・設備等もたくさんありますので、ぜひオープンキャンパスに参加していただき、本学の実習環境を体感してみてください。

（臨床検査科　黒住 菜美）

既刊の「若きいのち」は、本学ホームページでご覧いただけます。